

第30回

福岡県

美しいまちづくり

建築賞

the 30th

public

competition

2017

fukuoka

prefecture/

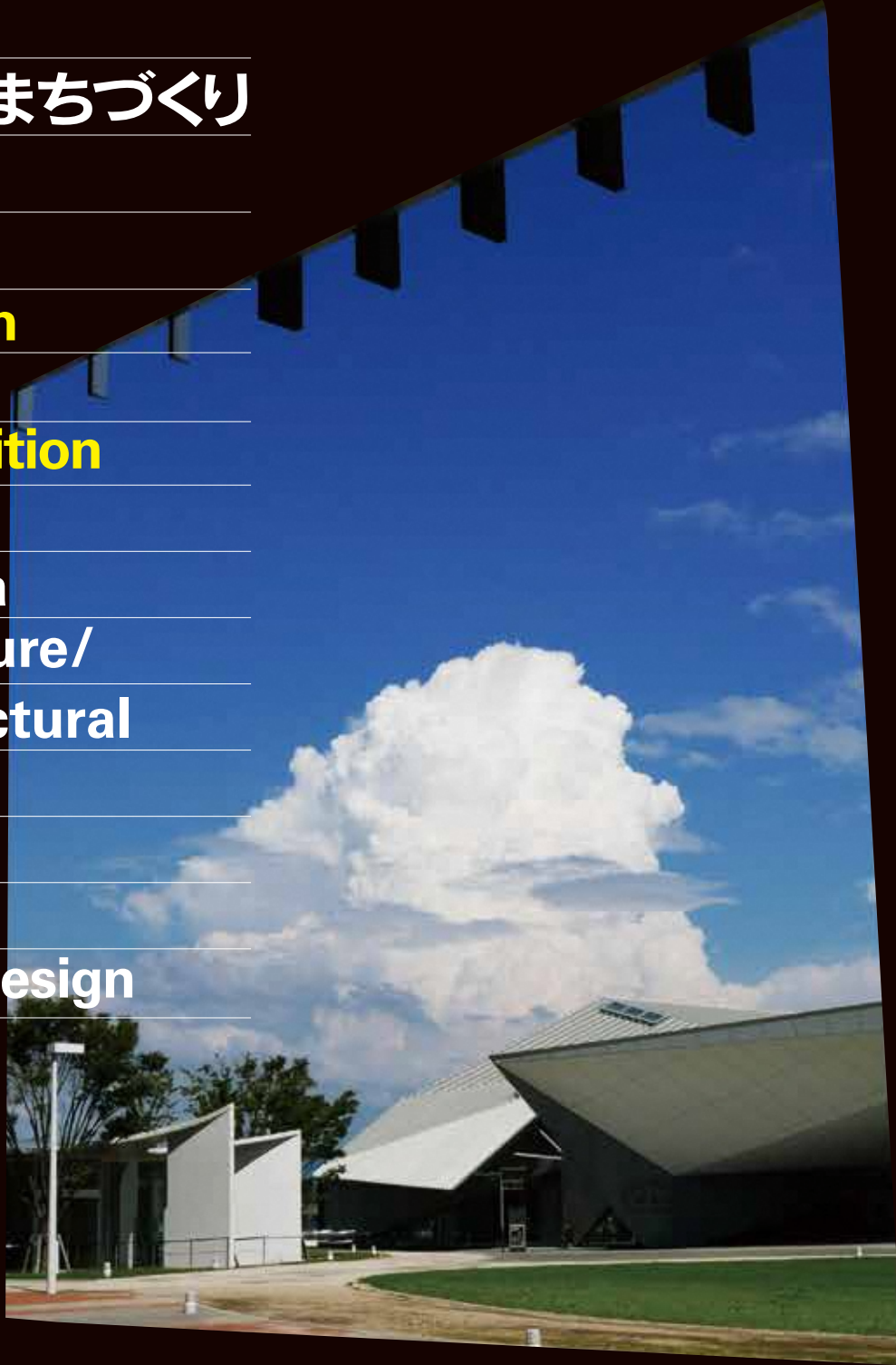
architectural

award

for

artistic

urban design



目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
最終選考対象作品	08
理事長賞	09
理事長賞 最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13

ご挨拶

福岡県知事 小川洋

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、県民の皆さまや事業者の方々の美しいまちづくりへのご理解により、毎年多くの優れた作品をご応募いただき、今回で30回目を迎えることができました。ここに深く感謝申し上げます。

本県では、県民の一人ひとりが「福岡県に生まれて良かった、生活して良かった」と実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、さまざまな施策を展開しております。

その施策の柱の一つとして、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、良好な景観の絵画および写真、景観形成に資する建築物の表彰、街並み整備の推進などにより、美しいまちづくりへの県民意識の醸成、良好な居住環境づくりを促進しております。

これらの取り組みの一つである本賞は、国連が定めた国際居住年である昭和62年に「福岡県建築住宅文化賞」として創設されました。平成12年の「福岡県美しいまちづくり条例」制定に伴い、本賞へと改編を行ってからは、県内の「個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観の形成に資すると認められる建築物」を対象に表彰を行っております。

第30回の節目となる今回も多数のご応募をいただき、選考委員会の厳正な審査を経て、住宅の部・大賞「糸島の家(MPラボ)」、一般建築の部・大賞「西南学院大学図書館」のほか優れた建築作品を選定いたしました。

これらの受賞作品を通じて、県民の皆さまの良好な景観形成、質の高い生活環境の構築に対する意識が高まることを期待しております。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

選考委員長 菊地成朋

この賞は、優れた建築物を表彰することによって美しいまちづくりの促進を図ることを目的として制定され、本年度で30回目を迎える。一般公募で集まった作品の中から、選考委員会の審議を経て住宅と一般建築の部門ごとに大賞および優秀賞、また住宅のリフォーム・リノベーション作品を対象に(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞が授与される。選考にあたっては、まず第1次選考として応募書類をもとに候補作品を選出し、第2次選考でそれらの現地審査を行って受賞作品を決める。

本年度は、住宅の部25件、一般建築の部41件、計66件の応募が寄せられた。それらから現地審査に進む作品を絞り込む第1次選考委員会を9月11日に開催し、住宅の部の候補4作品と一般建築の部の候補4作品、センター理事長賞候補2作品を選出した。

現地審査は10月31日と11月18日の2日にわたって行われ、建物の外観や内部空間を視察するとともに関係者の説明を受けた。この現地審査終了後、最終選考委員会を開催し、各受賞作品を選出した。

住宅の部では、伝統的町家の敷地内での増築と戸建住宅3例の4作品が第1次選考を通過したが、いずれも既存の環境や地域との関係性にテーマを有しており、この賞に相応しいものであった。ただ、それぞれの評価すべきポイントがかなり異なっており判断が難しかったといえる。その中で、大賞を受賞した「糸島の家(MPラボ)」は、住宅作品としての完成度が高く、多くの委員の共感を得た。優秀賞の「筒井の家」は、新しい着想にもとづく意欲作であった。

一般建築の部では、大学図書館2例、病院、納骨堂の4作品が第1次選考を通過した。それぞれのビルディングタイプが異なることから、審査が一層難しかった。大賞の「西南学院大学図書館」は、「知のシンボル」という図書館の意義を再認識させる力強い

作品であった。優秀賞の「福岡病院中央棟」はこの病院の理念に寄り添った設計姿勢が高く評価された。

(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞には、賃貸集合住宅の1棟全体をリフォームした事例と、空き家をリノベーションして地域活性化施設にした事例とが最終選考に残った。このうち、ソフトとハードを巧みに融合させて温かみのある地域施設を実現した「こたけ創造舎」が理事長賞を受賞した。

なお、この賞は福岡県が主催するものであり、単に目立つものとか話題になったものを表彰するということではなく、社会的にみて優れた建築を表彰することによって、福岡の建築文化を高めようというのが趣旨である。また、「美しいまちづくり建築賞」という名称が示すとおり、建物単体ではなく、地域の価値向上に貢献するような建物が評価対象となっている。今後、この制度が質の高い建築ストックの醸成に繋がっていくことを期待するものである。

大賞

住宅の部

糸島の家 [MPラボ]

設計趣旨 敷地は、木立越しに船越湾とその先には雷山山系を望むことができる急峻な下り斜面。その景色を最大限に生かした住居兼仕事場である。

1階RC造に、2階木造部が4方をオーバーハングして載る。道路際の既存樹を可能な限り残し、その奥に控えて建てることにより、道路沿いの景観の保存に努めると同時に、内部にあっては無二の眺望を獲得している。

樹林に突き出し浮遊感あふれる居間スペース、春には満開の桜を間近に感じるライブラリー、木立の間の仕事場などなど、各スペースからは、それぞれ様々な海、緑、空を眺め、感じ、飽くことのない時を過ごすことができる。

豊かな開放感と、柔らかく包まれるような安心感のある空間となっている。

講評 この住宅は糸島半島に開発された別荘地の急斜面に建っている。1階のコンクリートのボックスの上に黒く塗られた箱型の2階が乗っていて、林の中にあって少し浮いたような形をしており、外観はごく控えめである。それが室内に入ると、船越湾の内海を見渡す眺望が一面に広がる。その眺望は、リビングだけでなく風呂、仕事場、和室といったさまざまな部屋で、かたちを変えながら楽しめるようになっている。立地の特性を存分に生かした設計である。

さらに、質の高い空間づくりを心がけた巧みな設計が隔々に行き届き、魅力的で心地よい居場所を生み出している。そして、竣工から7年近くを経てもなお、室内が良好な状態で維持されており、居住者がこの住宅を大切に扱ってきたことをうかがわせる。

設計者が、話題性などに囚われることなく施主のために空間をつくるという姿勢でその力量を十分に発揮し、居住者にもそれがよく理解され、極めて良質な住宅が生まれている。好感の持てる作品である。



所在地 糸島市
建築主 個人
設計者 柳瀬真澄建築設計工房 代表 柳瀬真澄
〒810-0024 福岡市中央区桜坂1丁目8-3 ホツホbaum桜坂002号
TEL 092-761-8003
<http://www.yanase-arc.com>
施工者 株式会社北洋建設 代表取締役 脇山亨治
用途 仕事場兼住宅
構造規模 RC造 木造 2階建て



撮影：石井紀久

大賞

一般建築の部

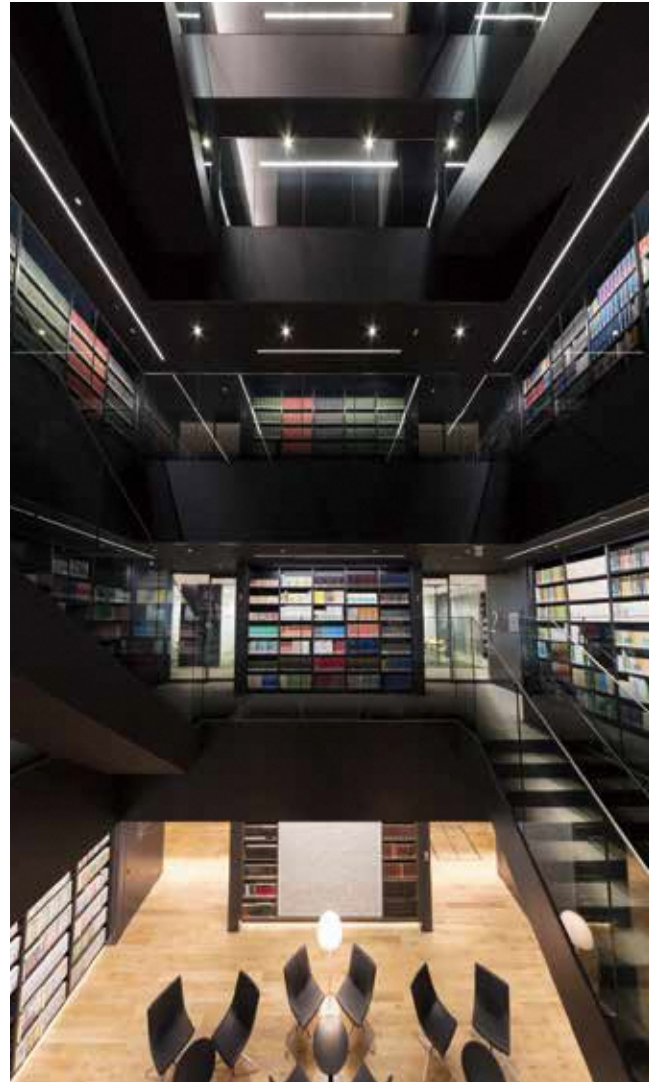
西南学院大学図書館

設計趣旨 福岡の文教拠点である西新地区とキャンパスとの結節点として、この新図書館が福岡の新しいシンボルとなり学術・文化拠点となることを意図して計画を行った。新図書館は、建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」の理念に基づき、地域・キャンパスと建築が融合し、学生たちがこれまでにない知的創造活動を発信する場とするため、新図書館を「西南の知の樹」として樹木のような構成とし、中心に知識の幹である「ブックツリー」という本に囲まれた縦動線と、その周囲に成長する枝葉としての「ラーニングリーフ」という多様な学びの空間を設え、全く新しい「考える学生を創造する場」を創り出している。

講評 大型の図書館を、中心部分にコアを置く構成で処理し、それによって動線的にも明快な解決をはかっている。中心に置かれたブックツリーは、縦動線であると同時に図書館のシンボルとして、あえて重く保守的なイメージの演出が施されている。言うまでもなく図書館は知と歴史の集積地であり、その象徴としてこのような演出を行ったことには意味がある。

外観を構成するレンガも、通常と違い、独特の空きを有した積み方である。これは、単なる意匠的な処理ではなく、日射のコントロールと断熱効果を考慮して採用されている。このように、演出的な意匠の中に利用者への配慮が常に込められており、評価されるべき設計態度である。外構は、キャンパス内にありながら地域空間としての利用も想定され、ベンチなどが置かれた開いた構成となっている。

設計者が確信を持ってデザインを選択し、密度の濃い設計を行うことによって、知の象徴としての図書館の意味、利用者の使い易さや居心地、さらに地域への貢献のいずれをも成立させている。



所在地 福岡市早良区
建築主 学校法人西南学院 理事長 G. W. パークレー
設計者 株式会社佐藤総合計画 九州事務所副所長 飛永直樹
〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-18
TEL 092-263-0870
<http://www.axscom.co.jp>
施工者 松尾建設株式会社 代表取締役社長 松尾哲吾
用途 学校(大学図書館)
構造規模 鉄骨造 一部CFT造 7階建て



撮影：針金洋介

優秀賞

住宅の部 筒井の家

所在地	大野城市
建築主	個人
設計者	野口豊高建築構造設計 代表 野口豊高 〒816-0931 大野城市筒井1-6-17 TEL 092-585-8115
設計者	岡部義孝建築設計事務所 代表 岡部義孝 〒816-0973 大野城市横峰2-17-10 TEL 092-596-2340 http://yoarcs.com
施工者	株式会社 岩永組 代表取締役 岩永一宏
用途	事務所付住宅
構造規模	鉄骨造 3階建て

設計趣旨 「筒井の家」は、周辺を家々に囲まれた、光と風の確保が難しい敷地であった。

既存住環境において、風の抜け、景観を考え、全体を極小コラムで構成しピロティを設けることで、南北の風、木漏れ日のような光が感じられる空間を創出した。

建物内部及び外部において既存環境を改善しながら周辺との良好な関係を構築することを目指した。空間構成は、1階をピロティ、2階に事務所、眺望の良い3階を主な居住空間とした。

また、四王寺山の眺望を取入れつつ、外部からの光量と視線を調整するルーバーを設けている。ルーバーを介した光は所々でエキスパンドメタルのデッキとスケルトンなEV室・階段室を通り、地上まで光を落している。

講評 この住宅の設計に際し、施主自身が開発した極小コラムという構造技術を採用し、独特の抜けのある空間を実現した。構造的に極限まで細められた鉄柱をあえて傾けて配置することによって重量感がうすれ、軽やかさが演出されている。

周囲は一般的な戸建住宅地である。その中であって、ガラスを主体とした開放的な外観がユニークさを際立たせている。近年、住宅は社会に対して閉じる傾向にあるが、このような開放的な構成を試みたことは、住宅を地域に開く可能性を示したものとして評価できる。

挑戦的な作品であるが、居住部分を3階にすることで、眺望を得ながらプライバシーの守られた生活が送られるようになっていく。書類審査の段階では、あまりに開放的な構成であることから居住環境の点で疑問もあったが、実際に訪れてみると、住まいとして十分に成立しうることが実感された。この家で暮らすことも含め、提案者である施主のチャレンジ精神にエールを送りたい。



撮影：石井紀久

一般建築の部 福岡病院中央棟

所在地 福津市
 建築主 医療法人恵愛会 福岡病院 専務理事 佐々木好子
 設計者 株式会社竹中工務店
 九州支店設計部 設計2グループ長 笹栗久幸
 〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-20
 TEL 092-733-0316
<http://www.takenaka.co.jp/>
 施工者 株式会社竹中工務店 九州支店 支店長 弓削裕治
 用途 病院
 構造規模 RC造 地上3階 地下1階建て

設計趣旨 日本で最初に自由開放療法を開始した精神科病院の外來、救急病棟、医局などを集約した機能再編計画である。松林に覆われた約68,000㎡の敷地の前身は戦前の炭鉱保養地であり、当時旧薩摩藩より移築された薬医門は、100年近い時を経て地域のランドマークとして親しまれている。これらの歴史的建築資産と豊かな緑を発展的に継承することをテーマに掲げ、瓦葺き屋根の「大きな家」として開かれた精神科病院の「顔」と「構え」をデザインし、患者のみならず地域の住民にも広く受け入れられる環境づくりを目指した。

講評 精神科病院の建て替え事例である。入口の薬医門や松の木が和風の景観をつくり出しており、それに合わせて伝統的な瓦屋根が採用されている。その瓦の大屋根がかかった部分がエントランスホールで、広がりがありながら落ち着いた居心地の良い空間となっている。このような導入の空間がどういう構成であるかは、患者にとって重要な要件であろう。それに見事に応えている。

施設の性格上、全体的に手堅いプランニングだが、その中にこの病院独自の理念が組み込まれている。自然環境を治療に取り入れる、病院を地域につなげるといった理念のもと、明るく開放的な環境づくりが目指された。また、デイケアへの対応、さらに社会復帰までの多様な治療と介護を担うために精神科以外の治療も用意される必要があった。それらの理念を実現するために、建築も治療の道具として発想されている。

設計者が病院の理念に敬意を払い寄り添うことによって本来の役割を発揮する、そういう関係性の中で生まれた建築である。



撮影：ナガノコンサルタント株式会社

最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

住宅の部

高取の家
所在地 福岡市早良区
建築主 個人
設計者 有限会社堀部安嗣建築設計事務所 堀部安嗣
〒162-0828 東京都新宿区袋町10-5坂本DCビル3F
施工者 伊佐ホームズ株式会社 代表取締役 伊佐 裕
撮影 Toshihisa Ishii



住宅の部

山王小屋裏の家
所在地 福岡市博多区
建築主 個人
設計者 鶴田二郎アトリエ 代表 鶴田二郎
〒815-0083 福岡市南区高宮4丁目21-20
高宮ハウスA203
施工者 株式会社にしかわ 代表取締役 西川浩
撮影 イクマサトシ(TechniStaff)



一般建築の部

永照寺 納骨堂
所在地 北九州市小倉北区
建築主 宗教法人永照寺 代表役員 村上顕
設計者 株式会社環・設計工房 取締役 会長 鮎川透
〒815-0033 福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル208
施工者 松井建設株式会社 九州支店
取締役執行役員支店長 盆子原和利
撮影 イクマサトシ(TechniStaff)



一般建築の部

北九州市立大学図書館本館
所在地 北九州市小倉南区
建築主 公立大学法人北九州市立大学 学長 松尾 太加志
設計者 北九州市立大学 建築デザイン学科教授 赤川貴雄
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
設計者 株式会社東畑建築事務所九州オフィス
執行役員九州オフィス 代表 三迫靖史
設計室部長 八尋浩平
〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1
施工者 大同建設株式会社 代表取締役 山本憲一郎
撮影 株式会社 一整



こたけ創造舎

所在地 小竹町
建築主 小竹町長 松尾勝徳
設計者 株式会社デキタ 取締役 小野寺宗貴
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-15 和光湯島ビル8F
TEL 03-3868-0688
<https://www.dekita-tokyo.com/>
施工者 一機工務店 代表 和田伸一
用途 お試し居住住宅および地域交流施設
構造規模 木造 1階建て

設計趣旨 移住希望者向け滞在施設と地域の寄合所が一体となった場として空き家を再生した。

□ 地場の材・人・智慧を活かす

地域の竹職人と協働し、竹の美しさや素材感に触れられる空間づくりを行った。

□ 関わりしるとなる建築

竹のファサードは切出し・防腐処理・建て方まで町民参加でつくられた。また近畿大学との協働や町民によるライブラリーづくり等、ハードからソフトまで一貫し地域の人々が関わる余白をつくることを試みている。

□ 移住者と地域を取り結ぶ

移住希望者が過ごす場と地域交流スペースとの境界を取えずに明確にしていない。両者が自然と場を同じくすることで、移住の大きなハードルである地域と関わるきっかけを生み出すことを期待している。

講評

地域活性化を目的とした施設を、空き家のリノベーションで実現したプロジェクトである。小竹町は人口減少と

少子高齢化が著しく消滅可能都市にもあげられているといい、都市部からの移住促進施策を進めている。その一環として、移住希望者向けの「お試し居住住宅」を、カフェやライブラリーなどのコミュニティ空間と一体化させたこの施設が企画された。つくるプロセスで町民や大学生によるワークショップを開催し、協働と多世代交流を促すことによって、オープン後の住民の主体的な関わりにつなげようとしている。

エントランスの竹垣や内装などに竹を多く用いているが、これは町名にちなむとともに、竹の建築素材としての可能性を評価してのことである。手作り感のある、親しみやすい空間となっている。

自治体・町民・大学生といった多様な主体を巻き込み、空き家の調査に始まり、建設から利用に至るプロセスをデザインすることによって、新たなタイプの地域施設が生み出されている。



撮影：伊東浩

一般財団法人

福岡県建築住宅センター理事長賞

最終選考対象作品

光第2ビル

所在地 大野城市

建築主 株式会社光ビル 代表取締役 井上堯春

設計者 株式会社青木茂建築工房 代表取締役 青木茂
〒810-0072 福岡市中央区長浜1丁目2番6-206号

施工者 株式会社北洋建設 代表取締役 脇山亨治

撮影 株式会社青木茂建築工房



一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

●住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

●住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

●住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

●生涯あんしん住宅

在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示

●インスペクション(「住まいの健康診断」)

住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施

www.fkjc.or.jp/

●お問い合わせ先 / 092 781 5169

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として1978年(昭和53年)に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造審査業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[建築住宅文化賞] 大賞受賞作品

1回-12回

第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館



1

第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別邸第一水明荘



2



福岡医院
花園幼稚園
ビレッジ番月



3



第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女



4



第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院'海の病棟'
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
プロムナード'マリゾン'



5



第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
苅田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた



6



第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)



7



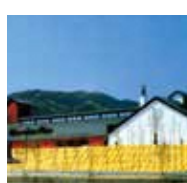
第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)



8



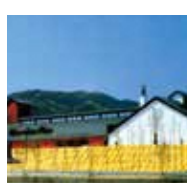
第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
縄田邸
上陽町立尾久保小学校



9



第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
碓井琴平文化館
新宮湊坂



10



第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度
鞍手の家
太宰府長浦台の家



11



第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)



12



第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度
山田市立下山田小学校

これまでの

福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

第13回福岡県美しいまちづくり賞

平成12年度

めくばー三輪

青葉台ほんえるふ

13回-27回



13



14 撮影：岡本公二



第14回福岡県美しいまちづくり賞

平成13年度

大野城の住宅

ひふ科いのうクリニック

八女市多世代交流館「共生の森」



15 撮影：岡本公二



撮影：Nスタジオ辻清志



16 撮影：岡本公二

第15回福岡県美しいまちづくり賞

平成14年度

City Cube

篠栗幼稚園



撮影：石井紀久



撮影：浅川敏



17



18

第16回福岡県美しいまちづくり賞

平成15年度

SHIMA STYLE

渡辺クリニック姪浜

247

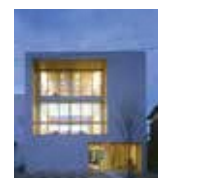
第17回福岡県美しいまちづくり賞

平成16年度

カルシア小戸ナチュア



19



第18回福岡県美しいまちづくり賞

平成17年度

昭和初期和風住宅の移築プロジェクト

西南学院中学校・高等学校

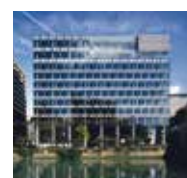
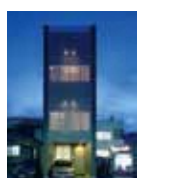
伊田堅抗櫓二本煙突<景観賞>

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成18年度

TERZETTO(テルツェット)

中村製紙所新社屋



第20回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成19年度

須崎の長屋

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成20年度

東神原の家

アクア博多

20

21

22

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成21年度

ペットと暮らす家[K邸減築工事]

天神MENTビル



23



24 撮影：石井紀久

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成22年度

豊前の家

下川歯科医院



撮影：みどりの写真



25 撮影：石井紀久



26 撮影：Y.harigane(Techin Staff)

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成23年度

むさしヶ丘の住宅

築上町火葬場

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成24年度

四季の家

料亭 嵯峨野



撮影：河野博之



27 撮影：石井紀久



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア

第26回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成25年度

Obi house

筑紫保育園 分園

第27回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成26年度

大池の住宅

椎木講堂

これまでの

福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞 28回-29回
平成27年度
桧原の家
BOATHOUSE OHORI PARK



28 撮影: Techni Staff



撮影: Kouji Okamoto



29 撮影: 大野博之



撮影: 株式会社エスエス

第29回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成28年度
太宰府の家
SHIP' S GARDEN

30th 2017

第30回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞

the 30th
public competition
2017
10 july - 21 aug.
fukuoka
prefecture/
architectural
award
for
artistic
urban design

表彰の趣旨

今回で30回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

賞の部門

- 住宅の部
 - ・一戸建ての専用住宅。
 - ・ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
 - ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。
 - ・ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- 一般建築の部
 - ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。
 - ※概ね10年前以降に竣工[増改築・修繕等含む]したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。
 - [福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除きます]

選考委員会

50首順、敬称略 ◎委員長 ○副委員長
池田美奈子 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授
石塚康弘 / 福岡県建築都市部次長
大森今日子 / 写真家
岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授
菊竹清文 / 情報彫刻家
菊地成朋 / 九州大学大学院人間環境学研究院教授 ◎
北里晋 / 西日本新聞社編集局文化部長
小路芳晴 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター 理事長
末廣宣子 / 有限会社エヌ・ケイ・エス・アーキテクツ取締役
田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授 ○

主催 / 福岡県

福岡県建築都市部住宅計画課内 福岡県美しいまちづくり建築賞事務局
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenchikusyo.html>
福岡県庁ホームページ 福岡県美しいまちづくり建築賞
お問い合わせ電話番号 / 0926433733

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター
後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店
独法：都市再生機構九州支店
福岡県住宅供給公社
公社：福岡県建築士会
一社：福岡県建築士事務所協会
一社：福岡県建設業協会
公社：福岡県宅地建物取引業協会
一社：九州住宅産業協会
公社：日本建築家協会九州支部
一社：日本建築学会九州支部
公社：日本都市計画学会九州支部
特非：日本都市計画協会福岡支部
福岡県ゆとりある住まいづくり協議会